



特集 駆け巡る「町民の足」

雪の上から祈りを込めて

小正月の伝統行事である雪中田植えが、1月29日に望山区コミュニティセンターでおこなわれました。この行事には望山地区と美郷地区の子どもたちが一緒に参加し、雪に覆われた田んぼの上にわらと豆がらの束を1つずつ挿して、秋の豊作を祈っていました。

平成29年

2

No.672



町民の足として 走り続けて20年

町内の公共交通機関の中で、町内の広範囲にわたって停留所を巡る町営バスは、私たちにとって最も身近な乗り物といえます。

町営バスはテルメ柏陵健康温泉館と柳川温泉の間で13便が運行。バスの行路には全部で39の停留所があり、役場前から柳川温泉までは手を挙げれば乗車することのできる「フリー乗車区間」になっているなど、地域に密着した柔軟な運用がおこなわれ

ています。

町営バスの運用が現在の形になるまでには、さまざまな経緯がありました。始まりは、今からおよそ20年前。それまで左沢―柳川間で運行していた民間バス会社の路線が廃止され、これによって生じた交通空白地を解消するため、平成8年9月に大江町町営バスが誕生しました。

平成15年、町営バスは大江中学校開校時から運行されていたスクールバスを利用しての運用となりました。これには、ルートが重複していた両者を統合することにより、運営の効

率化などを図る目的がありました。名称も「大江中学校スクールバス運行事業」として再出発することになります。

その後、平成28年4月から再びスクールバスと分離。町営バス事業として単独での運行が再開され、小中学生の登下校の時間帯付近でも、一般の利用者に合わせた運行ができるようになりました。

これに伴って、町営バスから朝のJR左沢線への乗り継ぎができるよう時刻表を改正。さらに、日曜日と祝日も含めた全日運行をおこなっており、1月1日～3日の3日間を除いて、町営バスは町内を毎日走行しています。

より便利で手軽に！ 生活に寄り添うバス

町営バスの大きな目的は、他の交通機関がない地域に住む方のための移動手段を確保することにあります。停留所も集落内の道路沿いに多く設置されており、本郷・七軒地区の多くの集落の中を走行するため、自宅の付近から気軽に乗車して目的地へ向かうことができます。

高齢の方や身体が不自由な方に

駆け巡る 「町民の足」

列車やバスといった公共交通機関は、通勤、通学、通院など、毎日の生活を支える大切な基盤のひとつです。その中で、町営バスやデマンドタクシーは、民間の交通機関の空白地を補うとともに、他の公共交通機関と接続して利便性を高める役割を果たしています。

移動手段を必要とする多くの町民の皆さんを乗せて、今日も各地をひた走る公共交通。町営バスを中心に、その役割と可能性について特集します。



とって、買い物や通院のための大切な交通手段となることはもちろんですが、町営バスを活用する機会はあるだけにとどまりません。

昨年、町営バスの時刻表はJR左沢線への接続をより重視した改正をおこないました。4月から午前6時柳川温泉発の便が追加され、8月からは午前7時16分柳川温泉発の便も運行しています。これによって、JR左沢駅を発車する列車への乗り継ぎがスムーズになり、山形市方面への通学や通勤に利用する方が前年度よりも増加しています。

どこまで乗っても 料金はワンコイン

低料金で利用することができるのも、町営バスの大きなメリットのひとつです。スクールバス運行事業と統合して以来、町営バスの運賃は乗車1回につき100円。どの区間を利用しても、料金は変わりません。

さらに、高校生以下の生徒・児童や身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は、半額の50円で乗車でき、小学生未満のお子さんについては無料となっています。

また、灯ろう流し花火大会が開催

される毎年8月15日は、できるだけ多くの方に光と音と水の饗宴を楽しんでいただこうと、全便が利用料金無料となっています。

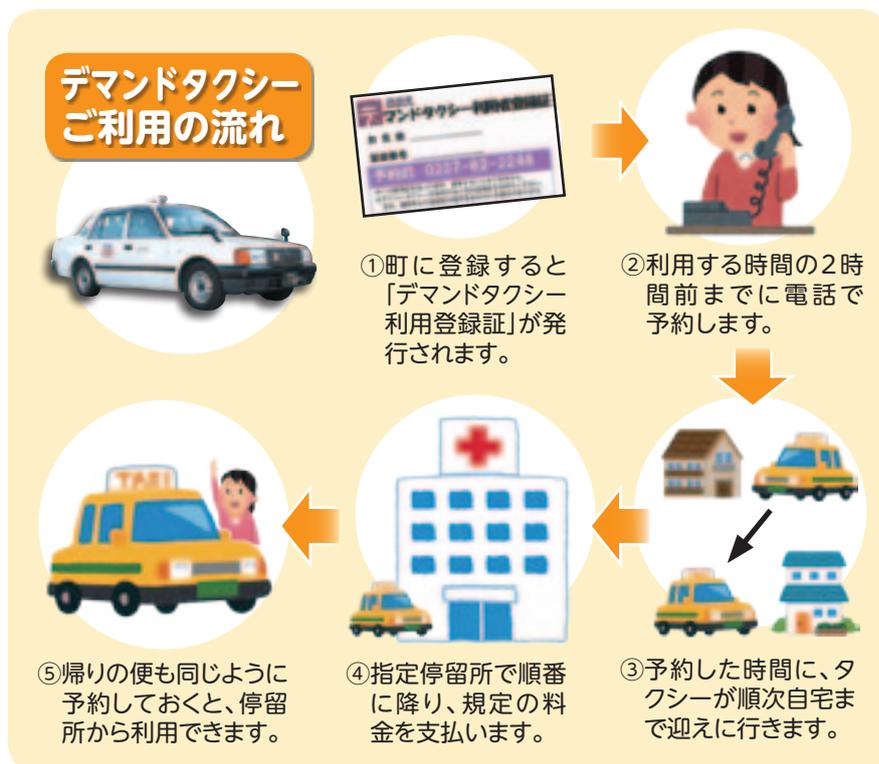
自宅から目的地へ デマンドタクシー

町が運営しているもう1つの交通機関が、乗り合いで利用するデマンドタクシーです。

デマンドタクシーは、町営バスやその他の路線バスの運行区域から離れた地域の方々の交通手段として、平成23年度から運行を開始しました。現在は、町営バスなどの路線から500メートル以上、JR左沢駅から2キロメートル以上離れた地区が対象となっています。

行き先となる停留所は、役場や駅、医療機関や金融機関など、指定されている場所に限られますが、自宅までタクシーが迎えに来てくれるという点で大きなメリットがあります。

利用したい場合は、事前に町へ登録をおこなって「デマンドタクシー利用登録証」を受け取ります。利用する時刻の2時間前までに電話で予約すると、自宅などにタクシーが迎えに来て指定の停留所まで乗車す



ることができるといいう仕組みです。予約があった際は、三郷・本郷・七軒の各エリアに1台ずつ車両が向かい、利用者の自宅を巡回してそれぞれの希望される停留所へ向かいます。予約が多い場合は、ジャンボタクシーでの送迎もできるよう対応しています。帰りの便も予約しておけば、指定停留所から自宅まで同じ流れで

利用することができます。

料金は、1回の乗車につき200円。町営バスと同様、高校生以下の利用者と身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は半額で利用でき、小学生未満は無料です。また、平成28年4月から、日曜日と祝日についても運行をおこなっています。平成29年度からは、小見・月が丘・

デマンドタクシーの対象となる地区

三郷エリア	用、深沢、伏熊
本郷エリア	荻野、堂屋敷、原、所部、塩野平、材木、小新、楢山
七軒エリア	矢引沢、田の沢、黒森、小清、中沢口、道海
平成29年度より追加予定	小見、月が丘、市の沢

デマンドタクシー指定停留所

官公庁	役場、中央公民館、ふれあい会館
駅	JR左沢駅
商店街	中央通り商店街（第1・第2）
医療機関など	白田医院、奥山医院、佐藤内科医院、五十嵐歯科医院、公平歯科医院、太田歯科医院
金融機関など	山形銀行左沢支店、きらやか銀行左沢支店、山形中央信用組合左沢支店、JAさがえ西村山大江基幹支所・本郷支所、左沢郵便局
その他	テルメ柏陵健康温泉館、柏陵荘、道の駅おおえ

市の沢の3地区への区域拡大を予定しており、さらなる利便性の向上が期待されます。

利用するほど 広がる可能性

路線バスや列車などの公共交通機関の最大の利点は、誰もが利用でき



町営バス運転手
渡辺秀一さん
(梨木原)

バスを運転して41年
たくさんの方と
出会いました

スクールバスが運行開始した昭和51年から、ずっと町のバスを運転しています。

町営バスに乗る方は、通勤、通学、通院、買い物などいろんな目的で利用されています。特に温泉に行くのを楽しみにしている方が多いですね。私もたくさんのお客さんと知り合いになったので、毎日お話をしながら楽しく運転しています。

貫見と沢口の間の新しい橋が開通したので、運行もスムーズになりました。これからもたくさんの方に利用していただきたいです。



▲走行中のバスの中。常連のお客さんと談笑しながら、渡辺さんはバスを走らせます



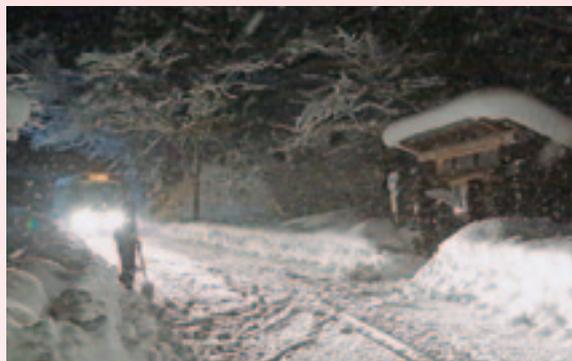
山形市立商業高校2年生
山口 優さん
(沢口)

毎朝駅までバス通学
休日も町営バスで
出かけています

1年生の時は毎朝母に左沢駅まで送ってもらって通学していましたが、昨年は町営バスが増便になったので、朝6時台のバスで通えるようになりました。特に冬場は雪深いので、母も助かると話しています。

運転手さんもスクールバスの時からお世話になっている方で、よく声をかけてくださいます。

休日も、友人の家に行くのに町営バスをよく利用しています。これからも利用していきたいので、より便利になったら嬉しいです。



▲朝6時5分、沢口停留所。まだ暗い中を、山口さんは町営バスに乗って学校へ向かいます

という事です。自動車の運転免許を持っていない方や自主返納された方など、自家用車を運転できない方でも、町営バスやデマンドタクシーを利用すれば、遠方の目的地でも楽に移動することができます。

町では、運転免許証を自主的に返納された65歳以上の方に、町営バスもしくはデマンドタクシーの3年間無料乗車券、県内で使えるタクシー共通乗車券、山交バス乗車券のいずれか1つを交付する支援もおこなっています。

町営の交通機関だけではなく、JRや山交バスへの乗り継ぎによって、さらに移動範囲は広がります。通勤、通学など、毎日の生活の一部としての利用にも便利です。また、地域住民の移動の活性化により、町内の温泉施設や商店の利用が増加すれば、地域経済の活性化につながることも期待されます。バスやタクシーの車内でのコミュニケーションも、利用する楽しみのひとつとなります。

公共交通機関の積極的な利用は、現在の交通基盤の将来にわたる維持・存続にも結び付きます。今後も町と民間交通事業者が連携・協力し合い、さらなる交通サービスの充実を目指して運用を進めていきます。



▲走行中の車内。会話や外の風景を楽しみながら、目的地までのひとときを過ごします



🌸温泉をつなぐ🌸 冬の小さなバス紀行

連日の降雪で、町内が一気に冬模様となった1月中旬。実際に町営バスに乗り、町内のバスの旅を体験してみました。

午前9時40分。柳川温泉前でドアを閉じたバスは、終点のテルメ柏陵健康温泉館を目指して走り出しました。運転手は、大ベテランの渡辺秀一さんです。

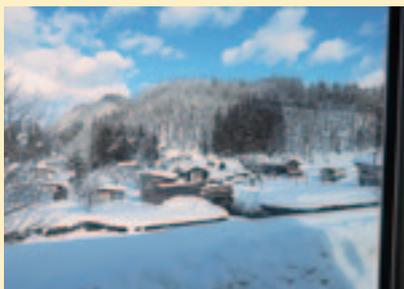
前日までの大雪で、車窓から見えるのは一面の雪景色。針葉樹に覆われた山々も、川沿いに広がる水田も、純白の雪化粧をした風景がみな一様に、日差しを浴びてキラキラとまぶしく輝いています。その中を、町営バスは山里交流館「やまさあーべ」、貫見郵便局などを経由して、七軒地区の各集落の中を走り続けます。

月布地区に差しかかると、一人の女性が手を挙げて乗ってきました。行先は、テルメ柏陵健康温泉館とのこと。「寒くなってきて大変だねえ」「雪が多くて、雪かきも楽でなくてねえ」

運転手の渡辺さんと近頃の調子などを話しながら、ひとときのバスの旅を楽しみます。

橋上停留所でバスに乗った2人の女性は、左沢駅前まで乗車してかかりつけの医院へ。「冬場はバスがあるととても助かりますね」と話す2人。通院の際は、いつも町営バスを利用しているそうです。車窓から差し込む暖かい日差しの中で、会話も弾みます。

その後も数人の方が乗車し、車内は少しずつにぎやかになっていきます。昨年オープンした中央公民館前を通過し、役場前やJR左沢駅前などで乗客を降ろすと、左沢十字路を通過して藤田地区へ向かいます。そして10時30分、終点のテルメ柏陵健康温泉館へ到着。柳川から藤田まで、総距離18・5キロメートル。時間にして約50分間の小さな旅は、幕を閉じました。そして約40分後には、再び柳川温泉行きの新たな旅が始まります。



▲車窓から見る柳川地区



▲住宅地の中に多くの停留所があります



▲橋上区にお住いの柏倉ミドリさん(左)と柏倉スズエさん(右)

■地域を結ぶ2つの架け橋完成 ～大江西川線貫見沢口間一部開通～

左沢から町内を東西に横断し、西川町の国道112号線へ繋がる主要地方道大江西川線貫見沢口間の一部が開通し、12月26日に安全祈願祭と開通式がおこなわれました。今回開通したのは、貫見側から月布川をまたいで架けられた塩地橋・岩井堂橋の2つの橋です。橋の入口には、西山杉を削り出して作られた町の鳥「ヤマセミ」と、町の魚「サクラマス」のモニュメントがそれぞれ設置されています。

月布川沿いを通る従来の道路は、道幅が狭くカーブが多いうえ、落石や雪崩の危険性もあり、安全な通行に支障をきたしていました。このため、県が平成24年度よりこの区間の道路改築工事を進め、このたびの一部開通を迎えることになったものです。

開通式では出席者によるテープカットと、関係者や地域住民の皆さんによる渡り初めがおこなわれました。

今回の開通により、道幅が狭かった箇所危険性が一部解消されて通行が容易になり、観光アクセスの向上と地域活性化などにつながることを期待されます。



▲出席者によるテープカットで開通を祝いました



▲開通した橋の渡り初めの様子。ヤマセミのモニュメントが通行する人の目を引きま



2 ■新たな年の幕開けを祝う ～平成29年町民新年会～

大江町商工会、さがえ西村山農協、大江町区長会の主催による平成29年町民新年会が、1月4日にふれあい会館で開かれました。新年会には、町政功労者をはじめ各種団体の代表や各区長など約130人が参加。大江町商工会長の庄司孝さん（7区）が主催者を代表してあいさつし、庄司俊夫さん（7区）が祝吟を披露しました。

参加者は町の地酒「大江錦」で乾杯し、お互いに年頭のあいさつを交わしたり歓談したりしながら、新たな1年の始まりを祝っていました。

■車に気をつけて元気に登校してね ～小学校新入生ランドセルカバー贈呈～

今年4月に小学校へ入学する子どもたちに安全に登校してもらおうと、交通安全母の会と防犯協会からランドセルカバーと防犯ブザーが贈呈されました。

このうち本郷東小学校では、2月1日に新入生オリエンテーションがおこなわれました。交通安全母の会の林伸子会長（上北山）はじめ役員の方が、14人の園児たち1人ひとりに、Jリーグ・モンテディオ山形公式デザインのカバーと防犯ブザーを手渡し、受け取った子どもたちは笑顔を見せていました。



平成 28 年度

町政功労者 表彰

1月4日、ふれあい会館で平成28年度町政功労者表彰式がおこなわれました。町の社会福祉や体育推進など、各分野にわたって町政振興のためにご活躍された受賞者の皆さんを紹介します。

※教育・学芸・体育・文化功労



阿部 利一 さん
葛沢

30年の永きにわたり、体育指導員およびスポーツ推進委員として尽力され、本町の体育の振興発展に貢献されました。

※社会福祉功労



白田 民子 さん
1区

12年の永きにわたり、民生児童委員として社会福祉の増進に寄与するとともに、地域における福祉の向上に貢献されました。



山家 吉明 さん
7区

12年の永きにわたり、民生児童委員として社会福祉の増進に寄与し、その間民生児童委員協議会会長を務められ、地域福祉の向上に貢献されました。



鈴木とみ子 さん
伏熊

12年の永きにわたり、民生児童委員として社会福祉の増進に寄与するとともに、地域における福祉の向上に貢献されました。



大泉 和子 さん
月布

10年8カ月の永きにわたり、民生児童委員として社会福祉の増進に寄与するとともに、地域における福祉の向上に貢献されました。

平成28年度

体育協会表彰



後列左から、鈴木 亮(代理)、清野大輔、柏倉飛鳥、高砂 涼(代理)
前列左から、菊地道登、笹川愛琉、鈴木いずみ ※表彰式出席者、敬称略

今年度、本町スポーツの普及と振興に功労があつた方や、競技成績の優秀な方を表彰する大江町体育協会表彰が1月29日に体育センターでおこなわれ、9人に殊勲賞、1人に奨励賞が贈られました。

☆殊勲賞…町・県を代表して全国大会に出場し入賞された方、県大会で優勝された方

☆奨励賞…県大会で上位入賞された方

〔殊勲賞〕

清野 大輔 (市の沢)

自営業、第71回国民体育大会ソフトボール競技成年男子第5位

柏倉 飛鳥 (小漆川)

東京学芸大学4年、第85回日本学生陸上競技対校選手権大会男子十種競技第3位(県新記録)、日本GP第3戦日本選抜陸上和歌山大会兼第31回オリンピック(2016リオデジャネイロ)代表選考競技会男子十種競技第7位

岡田 悠 (蛍水)

陵南中3年、第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会A女子100メートル第8位、第37回東北中学校陸上競技大会女子3年100メートル第2位、第53回山形県通信陸上競技大会中学校女子100メートル優勝、第62回全日本中学校通信陸上競技山形県大会女子3年100メートル優勝、第56回山形県中学校総合体育大会陸上競技大会女子3年100メートル優勝

笹川 愛琉 (蛍水)

寒河江・西村山ジュニアアスリートクラブ(左沢小6年)、第32回全国小学生陸上競技交流大会女子6年100メートル第7位、第32回山形県小学生陸上競技大会小学6年女子100メートル優勝(大会新記録)

鈴木いずみ (1区)

仙台大学3年、第43回東北総合体育大会ソフトボール競技成年女子優勝

高砂 涼 (13区)

国士舘大学4年、第71回国民体育大会山形県予選会レスリング競技成年フリー96キログラム優勝

堀場 涼 (みなみ)

山形東高校3年、第67回山形県高等学校総合体育大会フエンスンシング競技男子エペ優勝

大沼 翼 (美郷)

東海大山形高校1年、山形県高等学校新人体育大会陸上競技男子5000メートル優勝

菊地 道登 (梨木原)

ETジュニア(本郷東小6年)、第51回山形県長距離記録会男子小学1500メートル優勝(大会新記録)、第19回全国小学生クロスカンントリーリレー研修大会山形県選考会優勝

〔奨励賞〕

鈴木 亮 (藤田)

山形工業高校3年、第67回山形県高等学校総合体育大会卓球競技男子学校対抗第2位

※敬称略



1/8 伝統の味で楽しむ小正月

毎年1月15日ごろにあたる小正月の伝統行事が、1月8日に歴史民俗資料館で開催されました。この小正月行事の1つが、雪の上で田植えの動作を真似て豊作を祈る「雪中田植え」で、この日は農家の橋本光弘さん（伏熊）と地域おこし協力隊の高橋里奈さんが、笠とみのを身につけてわらと豆がらの束を雪の上に挿していきました。

だんご木が飾られた歴史民俗資料館では、田楽豆腐や雑煮もちなどの小正月料理が振る舞われました。来場者は、囲炉裏の火がともる昔ながらの雰囲気の中で、伝統の味を楽しんでいました。



1/15 映像とトークで町の魅力発掘

本町で暮らす人々を独自の視点でとらえた動画を制作している「おいで、おおえ」のトークイベントが、1月15日に中央公民館で開かれました。このイベントでは、これまで撮影した写真の展示や動画の上映のほか、山形市内でイタリア料理店を営む佐竹大志さん（伏熊出身）による軽食も振る舞われました。

トークイベントでは、動画に出演した町内在住の方々が、本町への移住をテーマに意見を交換。来場された方は「町の魅力に気づかせてもらえる素晴らしい取り組み」と感想を話していました。



1/13 だんごの実が大豊作！

秋の豊かな実りを祈る小正月の風習にちなんだ「だんごさし」が、1月13日に大江幼稚園でおこなわれました。

この日は全園児が遊び室に集まり、赤や黄色や緑色のだんごを丸めるところからスタート。干支やお正月にちなんだ飾りを、みんなで協力して色紙で作し、ミズキの枝にだんごと一緒に取り付けていきました。

色とりどりのだんごや飾りで彩られた「だんご木」が園内に飾られると、子どもたちは歓声をあげてカラフルなだんご木を見上げていました。



1/22 亘理に響く舟唄の調べ

「第27回えんころ節全国大会」が1月22日に宮城県亘理町でおこなわれ、本町の正調最上川舟唄保存会（会長：石川博資さん・葛沢）がゲストとして出場しました。この大会は、亘理町荒浜に伝わる祝唄「えんころ節」の唄い手が、一堂に会して自慢の喉を競うもので、民謡を通じて交流のある本町の正調最上川舟唄保存会も、毎年招待を受けて参加しています。

会場の亘理町中央公民館のステージで、保存会の皆さんは見事な唄声と踊りを披露。会場に詰めかけた来場者から大きな喝采を受けていました。



1/24~26 先人の知恵でおしゃれなバッグ

昔ながらの工芸を体験する「一閑張りバッグ作り教室」が、1月24日から26日にかけてふれあい会館で開かれました。一閑張りとは、竹や木のかごに和紙を貼り重ね、柿渋を塗って作る工芸品で、時間とともに色が深まるのが特徴です。

この教室では、3日間にわたって一閑張りバッグの制作に挑戦。参加者は和紙を貼っては乾かす作業を繰り返し、鮮やかな模様の布を貼り付けて、自分だけのバッグを完成させました。参加した皆さんは「楽しい教室なので、ぜひまた開催してほしいです」と話していました。



1/28 巨理町の子どもたちと冬を満喫!

自然を通して子どもたちの交流を図る「ドキドキ!! 自然体験塾」が、1月28日に朝日少年自然の家で催されました。今回は、昨年に引き続き宮城県巨理町の小学生20人が参加。本町の小学生15人とともに、雪国ならではの体験を満喫しました。

午前中はタイヤチューブで雪上を滑る「チューブすべり」を体験。子どもたちは3人から4人で連結して滑り、青空の下でスピード感を楽しんでいました。午後からは両町の子どもたちが協力してアイスクリームを作り、完成したアイスと一緒においしく味わっていました。



1/29 商店街に旧正月のにぎわい

旧暦の1月2日にあたる1月29日、恒例の「旧正初市」が中央通り商店街でおこなわれました。この日は好天に恵まれ、また日曜日ということもあって、町内外からたくさんの方が来場。だんご木や初あめといった正月の縁起物を買って求めたり、屋台の食べ物やくじ引きなどを楽しんだりしていました。

旧きらやか銀行大江支店前では、商店の皆さんが豚汁を調理し、来場した方々に無料で提供。訪れた方はしょうがの風味豊かな豚汁で温まりながら、初市のにぎやかな雰囲気には浸っていました。



1/29 力を合わせて勝利を引き寄せる

第24回町民つなひき大会が1月29日に体育センターで開催され、13チームが参加しました。今大会も熱戦が展開され、ライン際まで追い詰められながら大逆転をしたチームも。

場内には選手への応援の音が響き渡り、熱気に包まれていました。

大会結果

【男子の部】

優勝/本郷東
準優勝/本郷南(美郷)
第3位/藤田、本郷西

【男女混合の部】

優勝/本郷東
準優勝/左沢北
第3位/藤田

朝5時、テレビの画面に「東京日の出6時30分」の文字が見えたようだった。新幹線の手窓から日の出が見えるかもしれない。6時12分発の列車だ、猛烈な大雪風雪が予報されているので、早めに帰った方がいい。外は夜、まだまだ暗い。

太陽は東から出る、なのに「車窓日の出観察」を神は忘れたのか、進行方向左側で、西側の風景を楽しむべしと、想定外指定席である。車内には40人ほど、東側の席には誰もいない。後ろの席も空席だ。リクライニングを最大まで押し下げ、「誰もいないから東に移ったら」とささやきが聞こえた瞬間、窓枠の真ん中にお月様が、まるで絵に描いたようなまん丸、白金色に輝いて、薄墨色の地平から紫色の透き通るような空に浮かんでいるではないか。東京駅から大宮を過ぎ、宇都宮、ほんの数分車窓から月は消えていたが、ずーっと上下左右に映し出された、これほど長い時間、月を眺めたことは今までない。うさぎは見えなかったが、両手を左右に伸ばした「とおせんぼ」の巨人が見えた。月にはもう来てはいけない、私が見えないような汚れた空にしてはいけない、水のきれいな、緑豊かな地球がうらやましい……。窓枠、近景、遠景、気候条件など、最高の「月見列車」、絶景に声無した。

7時ごろ、窓ガラスがきらきらと、なんと右側の窓の外の燃えるような日の出を、鏡になって映し始めた。月と太陽の共演、舞台は黄金色と赤紫と薄墨色、うっすら積もった白い雪。「神は一物を与えない」とはならないなあ——カバンから飲み残しの清涼飲料水を取り出し、最初に右の窓、次に左の窓に向かって「カンパニー」。月は徐々に薄い色になって、形は見えるのに光は失せた。光らせるものありて光るものあり。

大江町長 渡邊 兵吾

地域おこし協力隊通信 No.30



大江町に来て初めての冬で、雪の日の多さにさすが山形！と感じるばかりです。

昨年の終わりに、藤田区で地域の魅力見つけ隊として人生初の「しめ縄作り」を体験させていただきました。藤田区では、神社の鳥居と公民館に飾るために毎年しめ縄を製作しています。いつもは役員の方が中心となって作っているそうです。

しめ縄作りの作業は、始めに2～3人組となってそれぞれパーツを作り、出来たら外で吊るしながら3人組で作ったパーツをねじって締め付けて、同じ高さに合わせて持ちながら時計回りに回して結っていくというものです。

技と力のいる作業でしたが、とても楽しい体験でした。

地域おこし協力隊 秋山雛菜



↑昨年12月、藤田区しめ縄づくりの様子

短歌

初夢やさくらの京都東山清水寺坂転倒目覚めけり

菅井 妙子

雪晴れて清く照り映え月夜には感謝の気持ち湧きあがりけり

松田 靄

一歳なる曾孫写りし年賀状居間に飾りて語りかけたなり

佐竹磨砂湖

年明けて春に巣立つは孫たちにうれしさもあり淋しくもあり

長岡かつ子

降りしきる雪の夕べは人恋しすべての人はかけがえなしと

山家 重之

年の瀬に手折りに活けし啓翁桜つばみ紅さし茶の間春めく

菊地つねよ

元旦やめでたし酉の雪はなし万年青は凛と交す乾杯

佐竹 與鼓

踏まれても踏まれても尚晩秋に小さき雑草花を咲かせり

斎藤 徳治

● 俳句 ●

初日の出障子に光輝きて

菅井 妙子

朝寒にかくんと音し膝笑う

鴨田富士夫

降り続く雪五日目の朝は晴れ

今井 茂樹

山里に心しずかな初日さす

松田 靄

福引の鐘高らかに朝の市

阿部 一風

電線に音符のやうに寒雀

清野今日子

どんと焼き最後は雪で消しにけり

山家 重之

境界を探るハンドル雪しまく

熊谷 勉

寒鰯の眼に残る日本海

舟山 三男

人日の妻の好物南瓜煮る

伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



河北町内の建設会社で技師として働いて3年になる菊地さん。現場で測量をしたり、作業員に指示をしたりする重要な役割を担っています。

「まだまだ覚えなないといけないことが多くて大変ですが、スムーズに作業が進むと楽しいですし、自分の指示で現場が動いて建物などができあがっていくのを見ると、充実感が湧きます」

休日は、友人と一緒に出かけ気分転換。特にカラオケが大好きだそうです。

「父が若いころに流行った歌も、よく歌うんです。全力で歌うと、とても気持ちがいいですね」

今年の4月で技師として4年目になる菊地さんは、土木施工管理技士の資格を得るための試験を今年の夏に控えています。

「資格が取れば、責任者として自分の現場を持つことができます。将来、『あの人の現場で働きたい』と言われるように、頑張りたいです」と、今後の目標を話してくださいました。

菊地 光洋さん (21歳・諏訪原)

頼れる責任者になるために

シリーズ企画

月刊

仲間とエンジョイ! No.3

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

大江卓球クラブジュニア



大江卓球クラブジュニアは、現在小中学生23人が所属。毎週火曜日と金曜日に体育センターで楽しく練習をおこなっています。代表の鈴木幹太さん(藤田)をはじめ、多くの指導者の皆さんが子どもたちの指導にあたっています。

昨年は、西村山地区ホープス卓球大会の男子団体の部で優勝を取めるなど、大健闘の年となりました。

子どもたちは「頑張って練習して、来年は全国大会に出場したいです」と、大きな目標に向けて意気込みを見せていました。

お知らせ

Information

大江町ふるさと奨学生を募集します

町では高校生・大学生などの就学を支援するため、無利子で奨学金を貸与しています。左記により平成29年度の奨学生を募集しますので、貸与を希望する方はご応募ください。

◆奨学金貸与月額および募集人員／
○高等学校、高等専門学校：年額20万円以内 10名以内（うち新入生3名以内）

○大学、短期大学、専修学校（専門課程）：年額50万円以内 20名以内（うち新入生5名以内）

※奨学生は、「奨学生審査委員会」の審査を経て決定します。

◆貸与期間／原則として平成29年4月から卒業するまでの正規の修業年限です。

◆奨学生の資格／町内に住所を有する者などの子弟で、学習活動、その他生活全般の態度、行動が奨学生にふさわしく、将来良識ある社会人としての活動が見込める者で、所定の所得基準額以下であること。

◆応募方法／「奨学金貸与申請書」（大江町教育委員会備付または町ホームページに掲載）に必要事項を記載し、添付書類と合わせて4月3日から28日までの期間内にお申し込みください。

問 教育文化課学校教育係 ☎(62) 2270

お困りのことはありませんか？ 生活相談所のお知らせ

◆開催日／毎週木曜日

◆時間／13時半～16時

◆場所／役場東庁舎 社会福祉協議会相談室

※相談は無料、個人の秘密は厳守されます。専門の相談員が対応します。

問 大江町社会福祉協議会 ☎(83) 4122

平成29年度スクールバス運転手 （臨時職員）を募集します

◆募集人数／1名

◆雇用期間／平成29年4月1日～平成30年3月31日

◆勤務形態／6時半～17時半までのうち6時間45分

※原則、子どもたちが学校へ登校する日が勤務日です。

◆業務内容／勤務形態 児童生徒の

一般介護予防事業

「お達者教室」を開催します

65歳以上の方を対象に、簡単な体操や認知症予防のレクリエーションなどをおこなう健康教室を開催しています。今回は第5回目です。ぜひご参加ください（1回あたり30名程度）。

◆日時／2月22日（水）13時半～15時

※13時から健康相談をおこないます

◆内容／体力測定とロコモ予防体操（講師 大江町接骨師会）

◆場所／大江町保健センター

※動きやすい服装で、水分補給用の飲み物を持参のうえご参加ください。

※会場までの送迎バスはありません。

問 地域包括支援センター（健康福祉課内） ☎62-2114



登下校送迎 ※簡単な学校業務を兼ねることがあります。

◆申込資格／①大型自動車1種または2種免許取得者、②平成29年3月31日現在63歳以下

◆賃金（参考単価）／時給1000円（日額6750円）

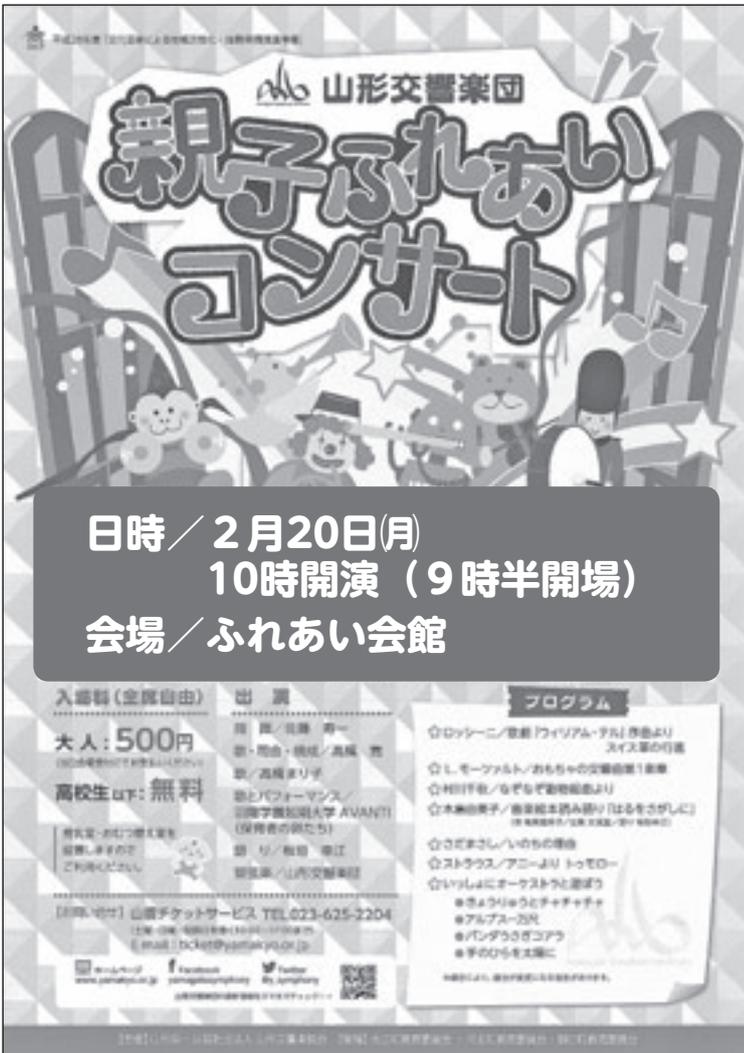
※平成28年度の参考単価ですので、平成29年度予算により改定する場合があります。

◆申込期限／2月24日（金）

ひとり親家庭に 卒業・入学祝金を支給します

ひとり親家庭などの保護者に、子どもの健やかな成長を願い、卒業・

◆提出書類／①市販の履歴書に必要な事項を記入し、写真を貼付したもの、②免許証両面の写し、③運転記録証明書（5年分） ※提出は郵送も可
問 教育文化課学校教育係 ☎(62) 2270



山形交響楽団
親子ふれあい
コンサート

日時 / 2月20日(月)
10時開演 (9時半開場)
会場 / ふれあい会館

入場料(全席自由)
大人: 500円
高校生以下: 無料

出演
高橋 真由美 等
歌・声・演技・高橋 真由美
歌・高橋真由美
歌とパフォーマンス
山形交響楽団 AVANTI (保護者の皆さん)
歌 リ/ 飯島 幸江
歌 飯島幸江/山形交響楽団

プログラム
☆ロッセーニ/童謡「ワイルド・ドール」(原曲より) スイス童謡の行進
☆「モーツァルト」おもしろい交響曲第1楽章
☆村山総合支庁北村山地域振興局講演(村山市桶岡)
☆本舞臺親子/童謡「おどろき」(原曲より)
☆さだまさし「いのちの輝き」
☆ストラウス「アコーより トゥーデロー」
☆いっしょにオーケストラと遊ぼう
★きょうりゅうとチャッチャ
★アルプス25分
★パンダうさぎコアラ
★手のひらを太陽に

山形交響楽団 TEL: 023-625-2204
E-mail: ticket@yamagata-symphony.jp

入学祝金を支給します。
◆支給対象者 / 町内に住所を有するひとり親家庭などの保護者
○卒業祝金: 平成29年3月に中学校を卒業する生徒
○入学祝金: 平成29年4月に小学校または中学校に入学する児童・生徒
◆支給額 / 児童・生徒1人につき1万円
◆申請方法 / 申請書は健康福祉課にありますので、所定の事項を記入し、

提出してください。
◆申請期間 / 2月9日(木) ~ 2月24日(金)
問 健康福祉課子育て支援係 ☎(62) 2285
河川愛護団体・支援企業 相互交流会のお知らせ
県管理の河川におけるボランティア活動への支援制度や、その取り組みを紹介しながら、河川愛護活動の

情報交換会をおこないます。
◆日時 / 2月22日(水) 14時 ~ 16時
◆場所 / 村山総合支庁北村山地域振興局講堂(村山市桶岡)
◆対象 / 河川のボランティアやその支援制度に関心のある個人、団体、企業の方々
◆申込 / 左記まで電話でお申し込みください。
問 西村山河川砂防課 ☎(86) 8413

善意いただきました

このたび、協同組合大江町商業振興会よりスポーツ少年団活動に役立ててほしいと、「おおいの物産味覚まつり」の際に募ったきらきらカードに募ったきらきらカード会員39名の方、朝日町・桃色ウサヒからの募金と合わせて49004円を寄付していただきました。町では、寄付金を今後のスポーツ少年団活動のために有効に活用させていただきます。

編集

後記

長い歴史があるとはいえず、「なかなかならないか」と考えてしまうのは、雪国の住民共通の感情でしょうか。
(伊藤智治)

一夜にして風景を一変させてしまう大雪。今回の特集の取材で町営バスに乗せていただいたのは、数日間にわたって雪が降り続いた直後、嘘のように晴れ渡った日の朝のこと。車窓から見える一面の銀世界の美しさに、取材を忘れてただただ見とれてしまう瞬間もありました。後日の取材で、巨理町から来てくれた子どもたちが雪を見て大はしゃぎするのを見ていたら、雪は北国に住む人が独占する「白い鉱脈」なのではないかとさえ思えてきました。もちろん、ただ美しいばかりではないのが雪というもの。朝起きて、玄関の前や道路にどっさり降り積もった白い塊を見ると、正直うんざりしてしまいます。春には液体になって、ことごとく地中に消えてしまいう冷たい物体。雪と共存してきた

メール配信サービスで町の情報をお届けしています。

ご登録はこちらから↓



思い出の

No.16

まいぞうひん

My 蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲スイスのユングフラウ鉄道を描いた鉛筆画。完成まで半年以上を要した大作です



▲作品を制作中の西村さん

◀上の絵を拡大した写真。色鉛筆の緻密なタッチがわかります

中学生のころ、漫画家になりたいなあと考えていました。高校生になり、図工の授業で描いたペン画を先生に褒められて、それが絵に対する自信になりました。

その後、風景、似顔絵、浮世絵、車の絵、仏画など、ジャンルにこだわらずに筆を握り、絵を描いてきました。最後の夢は、「東海道五十三次」に現代を取り入れたコラボ絵、そして芸術として認められれば、春画で締めくりたいと考えています。

私にとっては、絵を描く時が一番気持ちの集中する時間です。指先を使うことで、認知症の進行を遅らせることができるともいいます。今も、暇にまかせて描く日が続きます。

(7区 西村昭信)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

12月13日～1月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
13区	公平 千 ^{ちひろ} 絢	女	高広・真紀
藤田	庄司 壮 ^{そら} 良	男	哲哉・泉

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(月布 中山町)	大泉 優介 浦山 ゆか

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
伏熊	鈴木繁太郎	(64)
貫見	鹿股マサ子	(87)
原	佐藤たけの	(89)
9区	古田 文子	(88)
道海	鈴木キリエ	(98)
藤田	鈴木 庸珍	(85)
9区	石山 春巳	(99)
藤田	鈴木 君子	(101)
月が丘	渋谷 せの	(99)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,580人(-3)
男	4,240人(-2)
女	4,340人(-1)
世帯数	2,926戸(+4)

平成29年2月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。